

■ 令和7年度 第1回足近小学校学校運営協議会 議事録

1 日 時:令和7年5月9日(金) 10:00~11:50

2 出席者:学校運営協議会委員 11名

羽島市教育委員会 教育支援センター

3 内容

(1) 委嘱式

・市教委から、委員に交付

(2) 委員の紹介

* 一覧表をもって確認

* 会長、副会長、地域学校協働活動推進委員の決定

規約第10条、第1項 会長・・・足近町コミュニティセンター協議会会長

副会長・・・校長

地域学校協働活動推進委員・・・足近町コミュニティセンター館長

(3) 授業参観

* 各学級3分ほど参観

(4) 協議

* 学校経営方針の説明【学校長】

・足近町にある足近小学校のよさ・強味を生かす学校経営に努める。

・学校生活の中で一番長い時間を過ごすのは授業。授業の中で感動体験。授業の中で適切な生徒指導に努める。

・学校・家庭・地域のみんなで 足近小学校のみんなを「なかよく かしこく たくましく」育てていくことを大切にしたい。

* 学校評価について【学校長】

・学校評価を「なかよく」「かしこく」「たくましく」「安心な学校」の4観点で実施予定である。

* 小中一貫教育推進について【学校長】

・MOA 学園を中心により連携を密にして、各学校・各家庭・各地域が一体となって羽島中校区の子どもたちを育てていくことを大切にしたい。中学生や高校生が放課後、運動場に遊びにくることを拒むものではない。むしろ異年齢間での交流を促進するもので、微笑ましく思っている。

* いじめ防止基本方針の説明【学校長】

・未然防止に努め、どの子にとっても「楽しい学校」になるよう、授業の中で感動体験。授業の中で生徒指導を大切にする。

(5) 意見交流

【委員】

・休み時間、それぞれ思い思いの遊びを学年・学級の枠なく、できていることがよい。足近小の規模（全校児童165名）ならではのよさ。それが活きている。

【委員】

・放課後も元気いっぱい学校の運動場で遊ぶ姿がいっぱい。子どもたちが、安心安全に遊ぶことができる場になっていることは大変ありがたい。これからも大切にしていきたい。

【委員】

・近くにある地の利を生かした幼小の連携をこれからもより一層活発にしていきたい。

【委員】

・年度当初とは思えない、子どもたちが自然体で学校生活を送れていることが、すばらしい。
・休み時間の子どもの様子から、お互いに相手のことを考え、コミュニケーションを取ろうとする姿が多く見ることができた。こうした営みをこれからも大切にしていきたい。

【委員】

・3月まで年長だった1年生の子どもたちが、すっかり小学生になっている姿に感心した。
・校庭が放課後も子どもたちが自然と集まって遊べる場になっていることが、大変ありがたい。これからもそうあり続けて欲しい。

【委員】

・外部団体と連携して行う教育活動は、大変有意義なことであるため、持続可能なあり方について、検討して、できる限り、継続していきたい。

【委員】

・コミセンとの連携をとった活動（七夕まつり、足近フェスティバル、町民マラソン、足近町めぐり等）、これからも大切にしていきたい。
・5年生で行う高齢者との交流を行う福祉学習や稲作体験等、これからも大切にしたい。

【委員】

・防災学習を今後とも大切にしたい。
・中学生になった時に、小熊や正木の子たちとスムーズに溶け込んで学校生活を送れるようになって欲しい。

【委員】

・遊びを通して、人間関係の構築・ルールの順守・コミュニケーション能力の育成等、当たり前のこととして身に付け、生かして欲しい。

【委員】

・和気あいあいとし、落ち着いた態度での学ぶ様子に安心した。
・足近の子は、競争心が強くなく、奥ゆかしい子が多いように捉えているし、それが良さだと感じる。
子どもが、委縮することなく、のびのびと学校生活を送れることをこれからも大切にしたい。
・中学校に行ったときに、各校区（足近・小熊・正木）の枠を超えた仲間づくりがなされるように、地域としてもできることをしていきたい。

【市教委】

・地域の方のご尽力に大変感謝している。子ども同士のトラブルが親同士のトラブルになってしまう事例を散見する。そうなった時には、地域の方の力が必要。子どもたちの安心安全のために、今後とも変わらぬお力添えをお願いしたい。

(6)閉会の挨拶【会長】

今年度も子どもたちの安心安全のために学校と地域と保護者のみなで、足近の宝である子どもたちを「なかよく かしく たくましく」育てていきましょう。